

# 菌液接種による新梢におけるモモせん孔細菌病 枝病斑長の評価

福島県農業総合センター果樹研究所 栽培科

## 1 部門名

果樹—モモ—育種・選抜

## 2 担当者名

高橋堯之、安達義輝、芝祥太郎

## 3 要旨

県内ではモモせん孔細菌病が多発しており、対応に苦慮している。そこで、本病に強い系統を選抜するために、県内の主力品種及び交雑実生について、モモせん孔細菌病抵抗性の有望な育種素材である「チマリッタ」、「コーラル」等と比較して菌液の接種による病斑長の拡大程度を評価した。その結果、交雑実生2個体で病斑の拡大が小さかった。

- (1) 菌液接種には交雑実生 60 個体、9 品種を供試した。6 月に概ね水平方向に 30 cm 程度伸長している結果枝 5 本に対し、3 か所ずつ複針注射器で菌液を接種し、10 月に病斑長の拡大程度を評価した (図 1)。
- (2) 「168-2」「168-12」の2個体の病斑長は、「チマリッタ」「コーラル」及び「はつひめ」と同等で、「あかつき」及び「ゆうぞら」と比較すると有意に短かった (図 2)。
- (3) 今回の評価は新梢の病斑拡大に関するものであり、今後果実における発病程度との相関について調査を行い、その相関を明らかにすることで有望な系統の早期選抜が期待できる。



図1 接種試験による枝病斑 (白枠内)

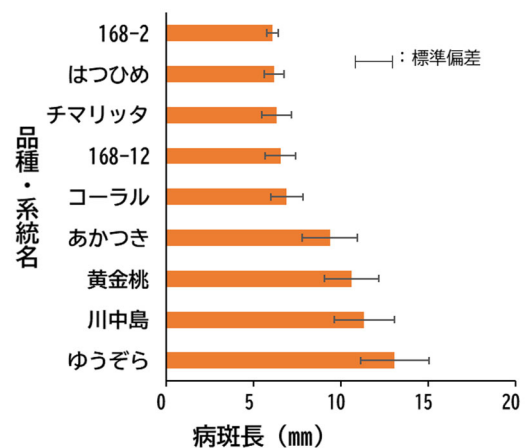


図2 供試品種・系統の病斑長

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成 30～令和 2 年度
- (2) 研究課題名 県オリジナル果樹品種の育成

[福島県と JA グループ福島による福島県産農産物競争力強化のための共同事業]

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 末貞佑子, モモせん孔細菌病の抵抗性評価法, 植物防疫, 70 (7), p.448-450, 2016.